

ひぐち いちよう  
**樋口 一葉** (1872年～1896年)

甲州市塩山出身の両親を持ち東京に生まれる。14歳から歌塾「萩の舎」にて学ぶ。父の他界後小説家として一家を支えるべく半井桃水に師事。19歳で処女作「闇櫻」脱稿。数々の小説を発表するが、生活の糧となるには届かず、下谷龍泉寺町に転居し商売を始める。10カ月足らずで店を閉じ本郷に戻るも、ここでの暮らしを題材に小説「たけくらべ」を発表、森鷗外、幸田露伴らに絶賛される。しかしながらその年の11月23日、肺結核により24年の生涯を閉じる。2004年11月、五千円紙幣の肖像となる。日本で初めての女性職業小説家。



やみざくら  
「**闇櫻**」(1892年3月)文芸雑誌「武蔵野」創刊号書き下ろしの処女作。16歳の千代が兄妹のように育った隣家の良之助への恋心に気づいて…

だすき  
「**たま櫛**」(1892年4月)「武蔵野」第2号掲載小説。庭の垣根越しに出会った19歳のいと子と竹村緑は共に心を奪われ結婚を希望するが、両親亡き後のいと子の養育に身を捧げてきた家臣・雪三は…

さみだれ  
「**五月雨**」(1892年7月)「武蔵野」第3号掲載小説。初恋に悩む19歳の優子と一つ年下の侍女・八重は乳姉妹。八重は優子の恋を成就させるため仲介に立とうと、その相手の名前を聞いて…



おくやま まさこ  
**奥山 眞佐子**

山梨県甲府市出身。文教大学文芸科卒。マキノ雅弘・山田五十鈴・金子信雄・丹阿弥谷津子に師事。一葉の原文に少々の注釈や工夫を加えることで、黙読では得られない一葉小説の世界を表現する活動を重ねて21年。2016年三越劇場一葉没後120年記念で行われた「ひとり芝居連続公演」で多大な好評を得る。NHK大河ドラマ「武田信玄」、朝の連続テレビ小説「あぐり」、黒澤明監督「まあだだよ」などに出演。舞台「生きてゆく私」御園座社長賞(演技賞)、一葉作品連続公演に対して「細うで繁盛記賞」受賞。NHK「夢見る葡萄」、「花子とアン」、「とと姉ちゃん」の山梨ことば指導を担当。

ホームページ <http://www.okuyama104.com/>

ときわづ きくよしろう  
**常磐津 菊与志郎**



常磐津菊志郎に師事。1994年、常磐津菊与志郎の名を許される。同年、国立劇場歌舞伎公演にて初舞台。2013年度清栄会奨励賞を受賞。歌舞伎公演、日本舞踊公演等を中心に活躍。NHK伝統芸能番組(テレビ、ラジオ)、テレビ朝日「題名のない音楽会」他に出演。パントマイムや舞踏、京劇、現代演劇との共演なども積極的に行う。

ないとう みちよ  
**内藤 眞代**



福井県出身。幼少の頃よりアララギ楽苑渡辺悠子氏に手ほどきを受ける。第5回全国高校邦楽コンクール第1位受賞。福井県文化協議会新人賞受賞。NHK邦楽技能者育成会第46期卒業。上京後、箏曲以外のジャンルにも意欲的に参加。現在、大久保studio-Mにて小二田茂幸氏の作品を中心に活動中。2016年9月にアルバム「かしこ」を発表。

## 奥山眞佐子ひとり芝居 ～次回公演のご案内～

### 『樋口一葉 二十歳のとき』

演出:鈴木 龍男 脚本:英次 ともゑ

2018年  
**10.23 火** 午後3時開演 (30分前開場)  
三越劇場(日本橋三越本店 本館6階)  
6,000円(全席指定・税込)



**MITSUKOSHI**  
三越劇場 〒103-0001 東京都中央区日本橋室町1-4-1  
日本橋三越本店 本館6階

[浄瑠璃] 常磐津 和英太夫  
[三味線] 常磐津 菊与志郎  
[箏] 内藤 眞代

—ご予約・お問い合わせ—

- 河佐井プロモーション Tel 03-6454-1955 (平日11:00～19:00)
- いちまるよん Fax 0467-24-1900 / インターネットご予約【奥山眞佐子ホームページ】>> 「お問い合わせ」欄
- 三越劇場 Tel 0120-03-9354 (10:00～18:30) / インターネットご予約 <http://mitsukoshi.mistore.jp/bunka/theater/>  
【三越劇場の前売開始は9月1日(土)午前10:00～ 初日はお電話・インターネットご予約のみ】

